



A MASASHI YAMAMOTO FILM 山本政志監督作品：ジャンクフード

# JUNK FOOD

飯島みゆき／古田新太(劇団☆新感線)／義幸／鬼丸／MIA／アリ・アーメッド  
エグゼクティブ・プロデューサー：大宮浩一、坂口一直、石毛栄典／プロデューサー：磯見俊裕／映像：伊藤 寛  
録音：滝澤 修／編集：掛須秀一／助監督：桧垣雄二  
音楽：DJ KRUSH、町田 康 & THE Glory、他／脚本・監督：山本政志

MIYUKI IJIMA/ARATA FURUTA/YOSHIIKU/ONIMARU/MIA/Ali AHMED  
PRODUCED BY TOSIHIRO ISOMI

DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: HIROSHI ITO

SOUND DESIGNER: OSAMU TAKIZAWA / EDITOR: SHUICHI KAKESU

ASSISTANT DIRECTOR: YUJI HIGAKI

MUSIC: DJ KRUSH, KO MACHIDA & THE Glory

SCREENPLAY & DIRECTED BY MASASHI YAMAMOTO

PRESENTED BY JUNK FOOD CONNECTION

(OMIYA VISUAL IMAGE PRODUCTION +  
STANCE COMPANY + TRANSFORMER)

1998/35mm/color/84min

# JUNK FOOD

ベルリン→東京→ニューヨーク…  
連続ロードショー敢行！

既成の秩序からはみ出したジャンク(ゴミ)  
な人間たちの生き様を、溢れる愛と毒を  
込めて描いた異色のバラード「JUNK  
FOOD」。1997年度トロント国際映画祭  
でワールド・プレミア公開され、全回ソーラー  
ード・アウトライン、上映後には観客から絶大な  
拍手が湧き起こるという圧倒的な支持を  
受けた「JUNK FOOD」は、既に今年6月  
にニューヨークでのロードショー公開も  
決定し、世界中から熱烈なラブコールを  
受け続けている話題作。

ストリートの“今”を  
リアルに切り取る衝撃作！



様々な人種と世代の交錯する、混沌とした都市の一日を舞台に、希望とやしさの混在する淡々とした描写の中で描き出される暴力とドラッグ、死とセックス…。盲目の老女の朝、ジャンキーOLの奇妙な昼、そして、暴走族、彫り師、が巻き起こす虚実混然となったワイルドな集団劇の夜。一見密接な関わりを持たない三つの物語とエピソードは、連鎖し見事に共振し合いながら、リアルでオーフィートな魅力に満ちた物語を紡ぎ出す。

ACT2のジャンキーOLには、新進女優飯島みゆきが体当たり演技で挑戦。二重人格の売人のキレた演技が壯

絶な劇団☆新感線の古田新太。ACT3には京都の街でその名を轟かしている、義幸。関東のストリートで3本の指に数えられ、本作でスクリーンデビューを飾る伝説の男、鬼丸。その他、様々なストリートのスター達が大挙出演。既成の役者達では到底表現できない、本物だけが持つ圧倒的な存在感の出演者達が、映画の個性を際立たせストリートのリアルを刻み込む。

毒と静寂と乾いた叙事性…、  
山本政志のクールな映像世界

監督は「闇のカーニバル」('82)「ロビンソンの庭」

四方田犬彦（映画批評家）

山本政志は現在の映画作家の誰もが不可能だと諦めてしまった大きな問い合わせ、すなわち汚辱と暴力を越えてユートピアはいかに可能かという問い合わせに拘っている。稀有名な作家である。

永瀬正敏（俳優）

ピースなヤツもジャンクなヤツも／明も暗も／ウラもオモテも／全て引っこめるて視線を送った作品 山本政志ここに在り!!! スゲエ～

ウルリヒ・グレゴール（ベルリン映画祭／ディレクター）

素晴らしいパワーとオリジナルな映像世界、東京の多様な“今”を伝える語り口。「JUNK FOOD」は私の最も好きな作品だ。

若松孝二（映画監督）

バラバラな物語をいくつも繋ぎ合わせることで、そこに生きる雑多な人々の生活を丸ごと描き出す…。不思議な魅力に溢れる映画である。

カレン・クーパー（ニューヨーク／フィルム・フォーラム）

ステレオタイプな日本社会のイメージを吹き飛ばす。「JUNK FOOD」はアメリカの観客にとって、非常に美しく、暴力的で驚異的な作品だ。



[JUNK FOOD - ジャンク フード-] 1998/35mm/84分/カラー/1:1.85 [CAST] ACT2: 飯島みゆき／古田新太(劇団☆新感線)／ACT3: 義幸／鬼丸／MIA／アリ・アーメッド／エヌテル・モレノ／津田寛治／ショードリー・イクラム／川村龍俊(マンブルゴッチ)／藤堂雄太(マンブルゴッチ)／小林陽子／KENTA.S／関西彌辰／桑原延享／鬼丸軍団／Homies／ACT1&4: 山本静子 [STAFF] エグゼクティブ・プロデューサー: 大宮浩一、坂口一画、石毛栄典／プロデューサー: 碓見俊裕／脚本・監督: 山本政志／映像: 伊藤寛／録音: 滝澤修／編集: 掛須勇一／助監督: 桐垣雄二／マイク・スタイルリスト: 星輝明／音響効果: 柴崎憲治／監督助手: 小野寺昭洋／撮影助手: 寺藤和弘／照明助手: 山本浩資／装飾: 林千奈／小道具: 三ツけいこ／マイク・スタイルリスト助手: 小林身和子／制作主任: 刈谷真一／制作進行: 魔鬼ちあき／挿入曲: DJ KRUSH、町田康&The Glory 他／製作: JUNK FOOD CONNECTION(大宮映像製作所+スタンス・カンパニー+トランスクォーマー)／配給: スタンス・カンパニー

## 4月18日(土)より衝撃のロードショー！

特別鑑賞券1400円絶賛発売中 (当日一般1700円、学生1400円、シニア1000円)

劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾンにてお求め下さい。

4月18日(土)監督・出演者による舞台挨拶あり。12:30～横浜日劇、15:00～ユーロスペース

●『山本政志全作品』連続レイトイショ公開! 4/4～17 於ユーロスペース

●オリジナル・サウンドトラックCD 3/26 発売

●ストリート・アート展「JUNK FOOD-JUNK ART」4/15～於渋谷パルコブックセンター脇

●http://www.caster.co.jp/junkfood/

## ジャンクフード

トロント映画祭、ベルリン映画祭正式参加作品

('87)で国際的評価を確立し、「てなもんやコネクション」('90)「熊楠」('91～)と一作ごとに大きな話題を提供し続けている鬼才・山本政志。ドキュメンタリーとフィクションが交錯する、ダークで毒をそそぐようなその演出は、生々しくも静かな都市のメルヘンを作り上げた。

多国籍なアーバンビート、  
強力なサウンド・トラック

多国籍でパワフルなストリートのビートが溢れるサウンド・トラックには、ジャンルと国境を越えて活躍するDJ KRUSHのクールなサウンドをメインに、サルサ、ラテン・ヒップホップ、イラニア・ディスコミニュージックなどクロスカルチャーの魅力に満ちた多彩な音楽をフィーチャー。エンドロールを締めくくる、パンクロッカー・町田康の「どうにかなる」は、まさにこの映画のために作られたようだ。また、ポスター写真は「ハーパース・バザー」「ザ・フェイス」「iD」等の一流ファッション誌やストリート写真の作品群で、今、ニューヨークで最も注目を浴びている写真家テリー・リチャードソンが担当。

表層的なファッションではない、リアルなストリートの“今”をフィルムに焼き付けた「JUNK FOOD」は、90年代が生んだ正真正銘のストリート・ムービーだ。

しまおまほ(漫画家)

私の知らない「日常」と私の知らない「人々」が息をしていました。しかし、いつしか「私の知らない彼らの「日常」」が私の中に侵入し、私はそれをこばむことができずにいるのでした。

水道橋博士(浅草キッド/コメディアン)

インフルエンザを想い出す。人間と動物が共に棲む地区で新種のウイルスが生まれ、世界中に流行っていく。この「共棲」は誰にも止められない。

宮崎学(作家)

カリスマ不在の今を生き急ぐ人々の様は、アジアに共通する空気をかもし出す。山本政志は、頑ななまでに自分の変質を拒否する希有の志しの男である。

DJ KRUSH(プロデューサー/DJ)

ストリートの“今”を目の当たりにしているDJの俺にも、もう一度立ち止まって“現実”をリアルに考えさせてくれた。俺はストリートから沸き上がるパワーを自分の身体で感じ“音”として表現しているが、山本監督も“映画”という手法で、それを表現しようとしている。表現方法は異なるが、共通するものを感じ俺の音を使ってくれたと信じている。心より感謝。

## ユーロスペース

渋谷駅南口下車2分、JTBさくら通り上る  
TEL03-3461-0211

1:10/3:10/5:10/7:10

横浜日劇

京浜急行黄金町駅、若葉町通り

TEL045-251-1815

10:50/12:40/2:30/4:20/6:10/8:00